



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日

東

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7187 URL <https://www.j-lease.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長(氏名) 中島 拓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長(氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,369	24.9	883	169.3	868	183.1	582	202.7
2021年3月期第2四半期	3,498	8.7	327	268.8	306	362.2	192	516.5

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 582百万円(202.7%) 2021年3月期第2四半期 192百万円(516.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	65.79	64.58
2021年3月期第2四半期	21.86	21.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,190	1,747	21.3
2021年3月期	8,154	1,205	14.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 1,747百万円 2021年3月期 1,205百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	15.00			
2022年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	18.4	1,660	75.9	1,630	78.9	1,060	91.8	119.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	8,896,800株	2021年3月期	8,839,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	101株	2021年3月期	60株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	8,855,105株	2021年3月期2Q	8,804,073株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策やワクチン接種の促進等により立ち直りの兆しが見られるなど、景気回復への期待感が高まりつつあります。一方で、引き続き、感染の動向が内外経済に与える影響や、金融資本市場の変動等に十分な注意が必要な状況にあります。

当社を取り巻く賃貸不動産業界におきましては、コロナ禍においても入居需要は底堅く、加えてオフィスやテナント等、事業用物件に対する賃料保証のニーズが増加傾向にあります。

このような環境の下、当社グループは、顧客（不動産会社、賃貸人、賃借人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、与信審査及び債権管理業務の強化を図るとともに、業務効率化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,369,552千円（前年同期比24.9%増）、営業利益は883,360千円（前年同期比169.3%増）、経常利益は868,281千円（前年同期比183.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は582,574千円（前年同期比202.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### （保証関連事業）

主力事業である住居用賃料保証については、新規出店や協業による営業ネットワークの拡充、顧客ニーズに対応した商品ラインナップ強化により堅調に推移いたしました。また、コロナ禍において、賃貸物件の流動性の向上に加えて物件に対する貸主のリスク・マネジメントに変化が生じております。このような環境の中で、当社ではオフィスやテナント等を対象とした事業用賃料保証に対応した商品開発を行うとともに既存・新規出店エリアでのネットワーク活用による新規顧客の開拓等、事業用賃料保証サービスの拡大に成功いたしました。また、住居用賃料保証と事業用賃料保証のクロスセルによる営業シナジー効果や保証料単価の上昇も売上拡大の要因となりました。

経費面では、独自データベースを活用した与信審査の強化、入居者の状況を適切に把握しそれぞれの状況に応じた債権管理業務を引き続き実施した結果、貸倒コストのコントロール、債権管理業務コスト削減が継続しております。

医療費保証業務においては、既存の保証料病院負担型に加え、新商品の販売等、引き続き販路拡大と営業強化に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は4,328,972千円（前年同期比24.8%増）、営業利益は890,255千円（前年同期比161.4%増）となりました。

#### （不動産関連事業）

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対する業務を中心に展開しており、利益率の向上に努めております。新型コロナウイルス感染症による入国制限が影響し、賃貸仲介が減少した一方で、売買仲介が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は44,552千円（前年同期比38.3%増）、営業損失は6,895千円（前年同期は営業損失12,534千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比36,425千円増加し8,190,581千円となりました。これは主に、収納代立替金の増加206,186千円、有形固定資産の増加185,918千円、現金及び預金の増加67,853千円、未収保証料の減少272,855千円、代位弁済立替金の減少156,063千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比505,559千円減少し6,443,118千円となりました。これは主に、短期借入金の減少400,000千円、未払法人税等の減少113,197千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比541,985千円増加し1,747,462千円となりました。これは主に利益剰余金の増加538,379千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比6.6ポイント増加し21.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比67,853千円増加し1,171,171千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、616,698千円（前年同期は217,987千円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の増加868,090千円、売上債権の減少267,310千円等によるものであります。主な減少要因は、収納代行立替金の増加206,186千円、法人税等の支払額359,153千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、154,484千円（前年同期は26,282千円の支出）となりました。主な要因は、建物等の有形固定資産の取得による支出175,964千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は、394,359千円（前年同期は50,271千円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額400,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年9月15日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて、2022年3月期通期連結業績予想を修正しております。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,103,317	1,171,171
未収保証料	919,340	646,484
未収手数料	42,302	47,807
代位弁済立替金	4,991,217	4,835,154
収納代行立替金	1,069,894	1,276,080
貯蔵品	11,999	9,974
その他	304,745	305,460
貸倒引当金	△2,341,200	△2,227,500
流動資産合計	6,101,616	6,064,633
固定資産		
有形固定資産	252,216	438,134
無形固定資産		
その他	329,894	290,995
無形固定資産合計	329,894	290,995
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,247,238	1,209,560
その他	447,204	499,154
貸倒引当金	△224,015	△311,896
投資その他の資産合計	1,470,427	1,396,818
固定資産合計	2,052,538	2,125,947
資産合計	8,154,155	8,190,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	2,750,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	60,048	66,720
リース債務	41,621	43,009
収納代行未払金	800,643	840,601
未払金	465,546	373,574
未払法人税等	379,335	266,138
前受金	1,925,944	1,973,150
賞与引当金	99,400	109,536
その他	215,729	155,192
流動負債合計	6,738,269	6,177,923
固定負債		
長期借入金	59,808	121,444
リース債務	102,104	85,555
役員退職慰労引当金	5,015	3,612
資産除去債務	42,598	53,014
その他	882	1,567
固定負債合計	210,408	265,194
負債合計	6,948,677	6,443,118
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,558	716,372
資本剰余金	289,558	291,372
利益剰余金	201,447	739,826
自己株式	△49	△89
株主資本合計	1,205,514	1,747,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37	△20
その他の包括利益累計額合計	△37	△20
純資産合計	1,205,477	1,747,462
負債純資産合計	8,154,155	8,190,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	3,498,789	4,369,552
売上原価	735,135	980,298
売上総利益	2,763,654	3,389,253
販売費及び一般管理費	2,435,665	2,505,893
営業利益	327,988	883,360
営業外収益		
受取利息	408	8
受取配当金	10	10
補助金収入	2,000	—
償却債権取立益	195	189
その他	251	408
営業外収益合計	2,865	616
営業外費用		
支払利息	16,676	14,111
債権譲渡損	6,011	—
その他	1,482	1,583
営業外費用合計	24,171	15,695
経常利益	306,682	868,281
特別利益		
課徴金返還額	573	—
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	573	18
特別損失		
減損損失	2,171	—
固定資産除却損	133	210
特別損失合計	2,305	210
税金等調整前四半期純利益	304,950	868,090
法人税、住民税及び事業税	130,822	247,837
法人税等調整額	△18,350	37,677
法人税等合計	112,472	285,515
四半期純利益	192,478	582,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	192,478	582,574

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	192,478	582,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	17
その他の包括利益合計	△14	17
四半期包括利益	192,464	582,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,464	582,591

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	304,950	868,090
減価償却費	81,814	84,098
減損損失	2,171	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	272,384	△25,818
受取利息及び受取配当金	△418	△18
支払利息	16,676	14,111
課徴金返還額	△573	—
売上債権の増減額(△は増加)	254,853	267,310
固定資産除却損	133	210
固定資産売却損益(△は益)	—	△18
代位弁済立替金の増減額(△は増加)	63,041	68,221
収納代行立替金の増減額(△は増加)	△364,381	△206,186
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,620	2,024
前受金の増減額(△は減少)	△65,408	47,206
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,554	10,136
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	975	△1,403
収納代行未払金の増減額(△は減少)	△85,123	39,958
株式交付費	691	990
その他	△59,799	△178,976
小計	421,923	989,936
利息及び配当金の受取額	418	18
利息の支払額	△16,556	△14,103
法人税等の支払額	△143,591	△359,153
課徴金の支払額	△44,206	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,987	616,698
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,254	△175,964
有形固定資産の売却による収入	—	18
無形固定資産の取得による支出	△17,179	△21,549
その他	6,151	43,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,282	△154,484
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△400,000
長期借入金の返済による支出	△30,024	△31,692
株式の発行による収入	—	2,638
株式の発行による支出	△87	—
自己株式の取得による支出	—	△39
配当金の支払額	—	△44,195
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20,160	△21,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,271	△394,359
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	141,433	67,853
現金及び現金同等物の期首残高	979,058	1,103,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,120,492	1,171,171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引を除き、第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。ただし、当会計基準の適用対象である取引は、一時点で収益を認識するものであるため、従前の収益認識の方法から変更はなく、当会計基準の適用による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,469,827	28,961	3,498,789	—	3,498,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,249	3,249	△3,249	—
計	3,469,827	32,211	3,502,039	△3,249	3,498,789
セグメント利益又は損 失(△)	340,523	△12,534	327,988	—	327,988

(注) 1. 売上高の調整額△3,249千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客との契約か ら生じる収益	594,622	40,579	635,201	—	635,201
その他の収益	3,734,350	—	3,734,350	—	3,734,350
外部顧客への売上高	4,328,972	40,579	4,369,552	—	4,369,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,972	3,972	△3,972	—
計	4,328,972	44,552	4,373,524	△3,972	4,369,552
セグメント利益又は損 失(△)	890,255	△6,895	883,360	—	883,360

(注) 1. 売上高の調整額△3,972千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。